

竹の台総合新聞



子ども見守り500日達成

雨の日も風の日も

平成18年12月8日から始まった子どもの登下校の見守り活動が、今年5月20日で連続500日を達成しました。この間の延べ参加者数は約8千人。



子どもたちからのメダルの授与

一日平均16人が参加して約2年半に亘って続けられた見守りは、「全国的にもモデルになる活動(兵庫県警)」と大きな評価を受けています。

竹の台小学校では、この日、500日達成を記念して、子ども達が手作りの紙製のメダルを見守りメンバー一人ひとりにプレゼント。高光正明竹の台小学校長は、「子ども達は、雨の日も風の日も地域の人々に見守られながら成長しています。自然な形で自分と地域との関わりを学んでいるように思います」とその意義を強調。見守り開始当初

から活動に参加している吉原安子さんは、「子ども達の方から『おばちゃん、試験で100点取ってん』とか『風邪ひいてしんどいねん』と話しかけてくれます。一瞬の何気ない会話が貴重ですね」と子ども達とのふれあいを楽しそうに話してくれました。

見守り活動も年々充実し、昨年11月の子ども見守り強化月間には大勢の保護者・地域の人々が活動に参加、通学路の親子安全チェックも実施されるようになりました。活動をバックアップする「竹の台子ども安全基金」

意見・要望を募集

地域福祉センターの運営

竹の台地域福祉センターを運営する、竹の台ふれあいのまちづくり協議会は、本紙を通じて、広く住民の皆様方から意見や要望を募集することになりました。

竹の台地域福祉センターは、平成4年7月に神戸市によって建設され、現在、地域団体で構成する竹の台ふれあいのまちづくり協議会(委員数47名)が、神戸市の指定管理者となり、運営管理を受託しています。年間13千人近い利用があり、地域の福祉や交流活動の拠点施設として



地域福祉センターは会議や福祉活動の拠点として活用されています

【ご意見・ご要望の送り先】

竹の台地域福祉センター 受付まで

FAXの場合 078-992-6889
(竹の台地域福祉センター)
用紙は任意です。

TELの場合 078-997-2312
(竹の台地域情報局編川宅)

E-MAILの場合 takenodai@furemachi.net
匿名の場合は受け付けません。
但し、ご意向は十分配慮させていただきます。

2008年(平成20年) 7月1日 火曜日 第12号

発行所 竹の台地域情報局 新聞制作委員会

〒651-2274 神戸市西区竹の台 2丁目10-2 竹の台クラブハウス内
http://takenodai.furemachi.net/

発行責任者 編川正明・森川賢子
電話(078)997-2312(編川)

ごみ分別で混乱

1丁目自治会

竹の台1丁目自治会では、「燃えないごみの日」に多量の缶・びん・ペットボトルの袋が出され、勘違いした他の住民がさらに、缶・びん・ペットボトルの袋を出すなど混乱しました。



引き取ってもらえないごみ袋

「500日は一つの節目。これからも継続して実施したいので一人でも多くの方に参加して欲しい」と見守り活動への参加を呼びかけています。

これは、6月第1金曜日(6日)の「燃えないごみの日」に、燃えないごみと一緒に間違えて「缶・びん・ペットボトル」の袋6袋が出され、回収に来た環境局職員がその袋に「引き取れない」旨のシールを貼付しました。1丁目自治会では、「間違えて出した人が気が付くように2・3日残置しておく」ことにしましたが、第2水曜日(11日)の「缶・びん・ペットボトルの日」が近づくと、残置された缶・びん・ペットボトルの袋を見た住民が「今日は、缶・びん・ペットボトルの日」と勘違いし、さらにその上に缶・びん・ペットボトルの袋を出してしまいました。

1丁目自治会は、早速環境局西事業所に電話して回収してもらい、住民にもごみ出しルールの徹底を呼びかけましたが、自治会役員は、「間違いを気付かせるために残置すれば、こんなことになるし、かと言って自治会が処理してしまうと間違いに気付いてくれないし」と困惑しています。

1丁目に限らず、こういったごみ分別の不徹底は、どここの自治会や管理組合にもあるはず。住民一人ひとりの協力が不可欠です。

マンションも

コミュニティ形成の一翼を

マンション標準管理規約が改正

竹の台地区にあるマンションの組織は、マンション管理組合のみで自治会はありません。このため、地域コミュニティの形成に関して、共有財産の維持を目的にしたマンション管理組合のスタンスには難しい側面がありました。全国的に見ると、管理組合とは別にマンションの中に自治会を結成したり、管理組合の中に自治的部門を設け地域コミュニティとの協力関係を築く事例が多くありますが、一般的な多くの管理組合では、「管理規約にコミュニティとの関係が記載されておらず積極的な関係構築は難しい」、「地域の行事への協賛は難しい」と悩んで

るケースが多いようです。こうしたことから、国(国土交通省)は、平成16年にマンション標準管理規約を改正。管理組合の業務として、「地域コミュニティ」にも配慮した居住者間の「コミュニティ形成」を追加し、そのために必要となる経費を管理費から支出できる旨を規定しています。

もちろん、「このマンション標準管理規約は、あくまでモデル規約ですからコミュニティ形成の条項を挿入しなかったからと言って罰則等はありません。しかし、これからの竹の台のコミュニティ形成を考える上で大切な管理規約の改正のよう

に思えます。(改正マンション標準管理規約は、国から神戸市にも通知され、国土交通省ホームページでも公表されています。右URL)

http://www.mlit.go.jp/kisha/kisha04/07/070123_3.html

竹の台公園に防災貯水槽

貯水槽工事始まる

地震などの災害時に、飲料水や消火用の水を確保する防災貯水槽の工事が、6月16日(月)から竹の台公園で始まりました。施行主の神戸市水道局垂水センターでは、「ご迷惑をお掛けしますが、災害時・緊急時にどうしても必要な施設です」と工事の協力を呼びかけています。工事は、直径3.2メートル、長さ40メートルの筒状のタンクのような貯水槽を地中に埋設するもので、貯水槽は水道本管とつながっているのだから新鮮な水が流れている構造になっています。災害や緊急事態が発生した場合、貯水槽の容量は、約600トン。これは、3万人が1人・1日3リットルの水を使うと仮定して、7日分に相当する容量だそうです。

工事は、来年4月末までの予定で進められます。なお、工事に関する問い合わせ等は、神戸市水道局垂水センター(TEL783-8781)まで。

竹の台小プール開放

家族連れでどうぞ

毎年夏の恒例行事となっている竹の台小学校のプール開放が、今年も7月5日(土)から始まります。(開放日程は表を参照)

プール開放を運営する、竹の台小学校施設開放運営委員会では、「ぜひ、ご家族ついでお越し下さい」とアピールしています。

7月 5日(土) PM	7月6日(日) AM・PM
7月12日(土) PM	7月13日(日) AM・PM
7月19日(土) PM	7月20日(日) AM・PM
7月21日(祝) AM・PM	7月26日(土) PM
7月27日(日) AM・PM	8月2日(土) PM
8月 3日(日) AM・PM	8月9日(土) PM
8月10日(日)は予備日	

プール開放日 AMは午前10時～12時 PMは午後2時～4時



夏だ！元気だ！ 暑さに負けるな！

特集

家庭でできる地球温暖化防止

竹の台地区には、自治会や管理組合とは違う地域団体が数多くあります。自治会や管理組合が決められた区画の中で親睦や交流、共有の財産管理などを行うのに対して、ふれあいのまちづくり協議会のように福祉活動を行ったり、エコタウンクラブのように環境問題に取り組む団体などがあります。これらの団体は、一定の活動テーマを持っていますから「テーマ型地域団体」と呼ばれています。

20年度は、これら「テーマ型地域団体」が新しいメンバーや体制でスタートすることになりました。本紙では、各団体の抱負やメッセージを一挙紹介します。

ふれあいのまちづくり協議会

メッセージ

ふれあいのまちづくり協議会は、竹の台地域福祉センターの運営と、高齢者や障害のある人への福祉活動や住民同士の交流活動を行っています。

協議会は、自治会や管理組合等から推薦された委員47名で運営され、通常業務は委員長ほか9名の役員が話し合っています。年間の予算額は約200万円。

竹の台地域福祉センターは、年間の利用者数12千人を数え、近隣の福祉センターの中でもスバ抜けて高い利用率を誇ります。これから高齢社会を迎え、ふれあいのまちづくり協議会の役割はますます高まってくると思えます。自治会等の皆様と一緒に、高年齢者を支え、元気に暮らせるまちづくりに取り組みしましょう。

プロフィール

今年、福祉活動以外にも自治会や管理組合の問題や課題を話し合う「竹の台円卓会議」の開催や、高齢社会に関する意識



委員長 寛 進さん

プロフィール

調査の実施、地域福祉センターの利用サービスの向上など新機軸にも積極的に取り組んでいます。また、総会を住民が傍聴できるようにしたり、総会や役員会の議事録も公開し、透明性の高い協議会活動を進めます。住民の皆様のご協力を心よりお願いします。

(問合せ先 寛 進さん
5丁目11-3 TEL991-6784)

青少年育成協議会 竹の台支部

メッセージ

今年から、竹の台の青少年育成協議会が独立して、「竹の台支部」となりました。

それを契機に、私が支部長を引き受けることになりましたが、まだ地域の事が十分把握できていないため、皆様のご支援、ご協力を心からお願ひします。

新生の竹の台支部は、青少年協単独で物事を進めるのではなく、自治会やふれあいのまちづくり協議会、子育て中の保護者の皆様等と連携協力し合って、青少年育成活動を進めていく予定です。また、活動の当事者である小中高生の意見も十分取り入れたいと思います。

今、社会では青少年が犯罪被害にあって、加害者になるような事件が続発しています。青少年が元気で明るく暮らせるコミュニティづくりに微力ながら貢献していきたいと思ひます。



支部長 船曳活郎さん

竹の台地域 見守りグループ

メッセージ

児童・青少年を狙った犯罪を未然防止するため、兵庫県設立支援を受け、平成17年12月から活動を開始した、メンバー67人を擁する地域自主防犯グループです。

パトロール基地を竹の台小学校に置き、黄色の防犯ベストを着用した住民ボランティアが日々

竹の台防災・防犯 福祉コミュニティ

メッセージ

竹の台阪神・淡路大震災の教訓から、日頃の地域活動や住民同士のつながりを災害や犯罪発生などの非常時にも生かしていくことと設立された地域の自主防災・防犯組織です。

他の地域では防災中心の活動が多いのですが、竹の台地区では防犯も活動の対象にしています。防災面では、防災訓練や防災リーダーの養成、市民救命士の育成、防災倉庫の維持管理を、防犯面では、夏・冬の防犯パトロール、防犯講習会の開催、交通安全指導など活動は多岐にわたっています。竹の台地域見守りグループは、主として登下校の見守りを行い、防災・防犯福祉コミュニティは、地域全体の防犯や防災を担っています。

プロフィール

竹の台地域見守りグループは、何よりメンバー同士の交流を大切にしています。コミュニケーションを図り、顔なじみになり冗談が言い合える関係があるから、2年半もの間継続した活動が進められました。年に1回ハイベキューパーティーも開いています。

一度、竹の台小学校のクラブハウスにお越し下さい。見守り活動は、1週間に1回でも、1か月に1回でも結構です。それよりも大勢の新しい友人、知人ができることの方が楽しいですよ。

(問合せ先 山崎 安之さん
3丁目10-3 TEL991-9829)



世話役代表 山崎安之さん

竹の台小学校 施設開放運営委員会

メッセージ

学校開放運営委員会は、竹の台小学校施設を地域の生涯学習の拠点として、住民の健康増進と文化の向上を図る団体です。自治会やクラブメンバー30人が委員として参加しています。

休日や夜間を利用して、12のスポーツ・文化クラブがグラウンドや体育館で心地よい汗を流しています。現在登録している団体は、スポーツクラブが、サッカー、野球、ラグビー、ソフトボール、バドミントン、卓球、空手、ママさんバレーボール、グラウンドゴルフ。文化クラブが、邦楽クラブ、民謡クラブ、子育てのNPOです。夏恒例のプール開放も委員会が運営しています。19年度には、同種の活動をしていた、スポーツ21竹の台クラブ」と合併し、運営の効率化や活動の透明性を高めています。

プロフィール

学校開放運営委員会は、地域に開かれた団体です。上記のクラブ活動に興味があったり、スポーツや文化活動に参加してみたい方は、お気軽にお問合わせ下さい。優秀な指導員やコーチが親切にお世話をさせていただきます。また、新しいスポーツクラブや文化クラブを作ろうと考えている場合もお問合わせ下さい。住民みんなで竹の台をスポーツと文化にあふれた町にしていこうではありませんか。

(問合せ先 山本 壽一さん
6丁目7-116 TEL992-8617)



委員長 山本 壽一さん

エコタウンクラブ

メッセージ

市民一人一人の環境意識を高め、日頃の行動やライフスタイルを環境に配慮したものに変わらうと、17年4月に住民有志で立ち上げました。活動は地球環境問題から日々のゴミ出し・分別まで多様です。特に、竹の台朝市の開催や食育活動、櫛谷で畑を運営する「なかま農園」の活動は、先進的な活動として神戸市や環境NPOからも注目を受けています。こういった地産地消・食育活動が認められ、昨年は、「あしたのまち・くらし

笑顔が飛び交うエコタウンクラブの集まり
左が森川さん 右が賢子さん
(問合せ先 森川 賢子さん
3丁目11-12 TEL992-4376)



笑顔が飛び交うエコタウンクラブの集まり
左が森川さん 右が賢子さん
(問合せ先 森川 賢子さん
3丁目11-12 TEL992-4376)

一度、エコタウンクラブの会合に来てみませんか。笑い声あり、冗談あり、自分達の育てた野菜の試食会あり、たまには食事会ありの、とても楽しい会合です。楽しくなければ地域活動ではありません。メンバーは、皆そういことを心得ていて、初めての人も大歓迎。友達づくりにもなるし、自然と身近に接することが出来ます。また、普段から考えている環境問題解決のヒントがあるかも知れませんが、是非、私達と一緒に楽しく環境を考えてみませんか。

「はばダン」



はばダン

兵庫県マンション 共用部分再建共済制度

マンション管理組合で1棟ごとまとめて加入できます!

自然災害によってマンションを再建した場合...
管理組合等に、負担金月額200円/戸で最高300万円/戸を給付
対象となるのは、マンション共用部分

(エレベーター等の設備も対象)
これまでどおり、個人としても共済にご加入いただけます
(負担金月額5,000円/戸で、再考600万円を給付)

マンションの自然災害の備えに大きな安心

高齢者福祉に一役

朝市で、よもぎ餅サービス

11回目を迎える「竹の台朝市」が、6月29日(日)、竹の台小学校で開催されました。あいにくの雨で、急ぎよ屋根のある小学校「多目的ホール」に会場を変え、雨天にもかかわらず大勢の買い物客が訪れ、会場は熱気に包まれました。

いつもの新鮮な野菜や手作り品、なかま農園の野菜で作ったカレーライスや榎谷のよもぎで作った手作り入浴剤などが販売されました。

今回の朝市の目玉は、高齢者の方々にもゆっくりと買い物を楽しんでもらおうと、手作り

のよもぎ餅とハーブティーのサービスを無料でサービスしたことです。

朝7時に集合したボランティアスタッフが丹精を込めて作ったよもぎ餅に舌鼓、ハーブティーには「おかわり」も出るほど。

この新しい取り組みは、地域団体同士の連携・協力の一環として、ふれあいのまちづくり協議会の提案で実現したものです。

福祉は福祉、環境は環境と、ややもすれば地域団体がバラバラで開催している事業が一緒に協働することで、住民サ

サービスの向上が一層進展していくと感じた朝市でした。



よもぎもち、美味しいね



ごみを減らすためカレーの販売には容器持参を呼びかけました

地域団体の総会続々

新体制でスタート

新年度を迎え、地域団体の総会が次々と開催されています。4月27日(日)に開かれた竹の台ふれあいのまちづくり協議会では、従来の福祉活動だけでなく住民自治にも取り組もうとの意見が出されたのをはじめ、青少年育成協議会では、活動の充実を図るために新しいメンバーの発掘を試み、防災・防犯福祉コミュニティでも新しい役員が誕生しました。

自治会・管理組合の総会でも、まちづくりに関する積極的な意見が多く出されています。年に1回の総会は、住民が



議論が弾む総会会場

水餃子に舌鼓

児童館に歓声の声

竹の台児童館が、6月28日(土)、子ども達を対象にした「水ぎょうざ」づくりを開催。

大勢の子ども達や保護者が手作りの水餃子に舌鼓を打ちました。

この催しは、竹の台子育てコミュニティ事業の一環で開催されたもので、50人近い子ども達に交じって、お父さんお母さんも参加。麵棒を使って皮づくりに挑戦した後は、ポラントイアさんの作ったぎょうざの種を包みこみ、いよいよお湯の中に投入。プクプクと浮いてくるぎょうざを不思議そうに眺めながら、出来上がった水ぎょうざを



おいしいぎょうざができるかな

子どもの安全を守ろう

児童引き渡し訓練と通学路チェック

6月12日(木)から14日(土)の3日間、竹の台小学校にて「学校公開スリーデイズ」が行われました。これは、この3日間、保護者や地域住民が、「朝の会」から「終わりの会」まで自由に参観できる、というものです。

『竹の台小学校では「ふるさと」と想える学校づくりに取り組んでおり、授業をはじめ学校の様々な活動を広く知ってもら

うことで、学校により親しみを持っていたりと同時に、いろいろな方のご意見をいただけたと思います。と高光校長先生。期間中は多くの保護者や地域の方が学校を訪れ、授業だけでなく、休み時間や給食の時間、検診など、授業参観では見られない子どもたちの日常の様子を参観しました。

また、最終日には、親子で防災・防犯を学ぶ機会として、火

災発生を想定した避難訓練と、緊急時に安全に下校するための保護者に子どもを引き渡す「引き渡し訓練」、そして通学路の安全チェックが行われました。

この「親子通学路安全チェック」は、最近西区内でも子どもへの声掛け事故が多発している中、子どもの危険に対する感受性を養うため、1年に1回は家族で通学路を歩き、危険な場所や「いざ」という時逃げ込める場所を確認する機会を設けようと、学校安全対策委員の保護者、竹の台防災・防犯福祉コミュニティ、竹の台地区子ども連絡会が企画し、昨年に引き続き行つたものです。西警察署や地域見

市民防災リーダー研修会開催

西神NT6地区合同

6月22日(日)美賀多台小学校で、平成20年度市民防災リーダー研修会が、開催されました。神戸西消防署の指導により、あいにくの雨天の中、西神NT6地区防災・防犯福祉コミュニティや地域住民160人が参加しました。

市民リーダーとは、災害時において消防など公的機関が災害現場に到着し、災害活動を始めるまでの間、近隣住民(30〜50世帯)の先頭に立って防災活動を行うものです。

簡易単価作成、けが人搬送、ロープ検索、AEDの使用法、直付け消火栓使用方法、消火器使用方法等を学び、最後に美賀多台婦人会の炊き出しの美味しいカレーをいただきました。(竹の台からの参加17名)



地域の動き

このコーナーでは、竹の台地区のさまざまな動きをお知らせします。皆さんのまわりの身近なことも何でも結構です。情報をぜひお寄せ下さい。



引取訓練には、たくさんの保護者が参加しました

竹の台公園モニユメントが一新

落書き防止塗装

竹の台公園正面にあるモニユメントが塗装会社の協力で、見違えるようにきれいになりました。このモニユメントはスプレーを使った落書きがひどく、散歩する人々にイヤな印象を与えていました。塗装会社の若手経営者で構成する「兵庫昭和会」とその上位団体の「兵庫県塗装工業協同組合」が、企業の地域貢献活動の一環として落書き防止を提案、ゴールデンウィークの3日間を使って落書きを削り落とし、さらに落書きをし

てもすぐに落とせる特殊被膜を塗ってくれました。地域としてもこれに感謝すべく、工事関係者を招待して、6月21日(日)に感謝行事を開催。神戸市や西区役所からも関係者が駆け付けてくれ、感謝状の贈呈や子供達も参加した落書き防止の実演などにぎやかで和気あいあいとした感謝の会となりました。この感謝行事に参加した地域住民からは、「地域と企業、それに行政がうまく連絡を取り合い、こうした素晴らしいことが実現できたんですね」との声が聞かれました。



スプレーの落書きが見事におちました



おまたせしました!

竹の台児童館丸尾先生まで
TEL992-7063
お問合わせ

青少協活動が充実

竹の台に青少協支部誕生

竹の台地区と美賀多台地区で構成していた青少年育成協議会が、20年度からそれぞれ独立した支部となりました。これは、1年間をかけて両地区が議論し、今後はそれぞれで切磋琢磨して特色ある活動を進めようと合意したもので、6月4日(水)に開催した西区青少協理事会で正式に承認され、竹の台地区は、青少協西神ニュータウン竹の台支部として発足することが決まりました。支部の新設によって従来両地区で折半していた神戸市からの助成金が満額約16万円獲得できるようになるほか、小学校や保護者、地域住民との距離も近くなり、より充実した活動が期待されています。

青少協の活動は、「こども



子どもは元気が一番

地域社会ぐるみで子どもを守る

文科省モデル事業開始

地域ぐるみで学校や子供達の安全を守る目的で、文科省のモデル事業が竹の台地区でスタートしました。これは、文科省の「地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業」の指定を受けたもので、6月27日(金)に第1回目の委員会が竹の台小で開かれました。

出席者は、教育委員会、警察、消防、学校、地域団体の代表者ら約30人。会議では、各団体から日頃の子どもの安全への取り組みや今後の活動の進め方が話し合われました。モデル事業に指定されたことで、約200万円の助成が期待でき、竹の台地区以外の近隣の小学校区、中学校区への波及効果も大きいと

思われます。筑ふれあいのまちづくり協議会委員長は、「国のモデル事業に指定されたことは、見守りグループメンバーの日々の努力が報われたもの。これを機会にさらに地域全体、西神ニュータウン全体の安全を高めたい」と語っています。

なお、委員会は、今年度中に5回開催される予定で、会議の内容は順次竹の台ホームページ「竹の台地域情報局」で公開します。



何でも相談
こおな〜

第11回

自治会活動やまちづくりに関する西区役所の相談窓口を教える下さい。また、西区役所には「地域担当制」というものがある聞きましたがどういふものですか。

A1

西区では、まちづくりに関する部署として、まちづくり推進課とまちづくり支援課があります。まちづくり推進課では、広報(なでしこ通信・西区ホームページ)、広聴(市政に関する苦情・要望の受付)、市民相談、住民自治組織、空地の適正管理の要望の受付、区の個性をのばすまちづくり事業、区政の企画立案・総合調整等の業務を担当しています。

自治会の組織運営でのお悩み事は、まちづくり推進課までご相談ください。まちづくり支援課では、ふれあいのまちづくり、老人クラブ、青少年育成協議会、社会を明るくする運動、子ども会、西区体育協会、体育指導委員、KOBES安全・あんしんネットワーク等の業務を担当しています。

A2

神戸市内の学校の状況

神戸市では、児童生徒の安全確保を図るとともに、小中学校は、災害時には地域の防災拠点となることから、昭和56年以前の「旧耐震基準」によって設計された小中学校の耐震診断を行いました。その結果に基づき、耐震補強を要する学校施設(校舎・体育館)を対象に、平成17年度から計画的に耐震補強工事を実施し、10年間で耐震化率100%を目指して耐震化を進めています。

特に、前期5カ年(平成17年度〜平成21年度)は、前倒しで実施し、平成21年度末までに小中学校の耐震化率を80%以上とするよう耐震化を進めています。

平成20年4月時点での耐震化率は、73.1%となっています(同時点の全国の耐震化率は62.3%)。

Q2

中国の四川大地震では、たくさんの学校が倒壊し子供たちが被害を受けました。神戸市内の小中学校は、災害時の地域の指定避難場所になっています。学校の耐震性は本当に大丈夫なのですか。

目で見る神戸市の歴史

シリーズ4【大正・昭和期】

明治22年4月の市制町村制の施行にもない神戸市が誕生しました。明治29年には兵庫運河が完成。明治31年には「神戸新聞」が発刊されました。交通網も整備され、近隣の町や村を合併しながら神戸市の規模は徐々に大きくなっていきます。しかし、都市化の急速な進展はさまざまな矛盾を生み、大正7年には大規模な米騒動が起こり神戸新聞社も焼き打ちに遭い、大正10年には、三菱、川崎で大争議が発生しました。



戦後の神戸で靴磨きをする少女



「焼夷弾爆弾で炎上する神戸工業専門学校」



日本本土を爆撃したB29

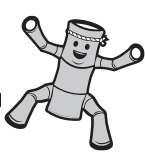
「42年水害で浸水した三宮駅周辺」



昭和に入り、14年に人口百万人を突破しましたが、この頃には既に社会は戦争一色となり、昭和16年12月8日、日本軍の真珠湾攻撃で太平洋戦争が始まりました。しかし、物量に勝るアメリカの軍力の前に敗戦を重ね、昭和19年12月、マリアナ基地から発進したB29がはじめて阪神間に焼夷弾を投下しました。神戸の歴史で忘れてはならないのが水害です。昭和13年、昭和36年、昭和42年の水害は、年配の方なら記憶に生々しい災害です。昭和42年7月9日の水害は、熱帯低気圧となった台風が梅雨前線を刺激し集中豪雨を西日本にもたらしました。1日当たり319ミリ、1時間当たり75.8ミリの雨量は河川を氾濫させ市内各地域が大きな被害に遭いました。その後、神戸市を初めとする各市の強い要望もあって昭和45年に都市小川川改修費補助制度が創設され、国・県の補助のもと各市が2級河川の改修に取り組むことになりました。

竹の台

ごみ出しカレンダー



Calendar grid with days of the week (日, 月, 火, 水, 木, 金, 土) and dates. Includes icons for trash types: burning (flame), non-burning (cup), large metal (trash can), and glass/plastic (bottle).

切り取ってごみ出しカレンダーとしても使用できます。

記号の説明 (Symbol explanation) listing trash types: 燃えるごみ (burning), 燃えないごみ・カセットボンベ、スプレー缶 (non-burning), 粗大ごみ・金属ごみ (large metal), 缶・びん・ペットボトル (cans/bottles).

ワケトン検定 (中級)に挑戦してみよう! (Waketon test challenge) with URL: http://a1.city.kobe.jp:8003/kenitei/

学校・教育施設関係

- 竹の台小学校: 7月2日(水)~4日(金) 個別懇談会, 7月4日(金) 広島省広州市広外附設(コウガイフツセツ) 外語学校交流, 7月18日(金) 1学期終業式, 7月22日(火)~8月1日(金) のびのびプール, 9月1日(月) 2学期始業式, 9月11日(木)~12(金) 授業参観・懇談会, 【西神中学校】 7月4日(金) 総体壮行会, 7月11日(金) 神戸市総体, 7月18日(金) 1学期終業式, 7月28日(月) 県総体

【竹の台保育園】

- 9月1日(月) 2学期始業式, 9月20日(土) 第20回体育会, 10月25日(土) 第20回文化祭と合唱コンクール, 【竹の台保育園】 7月11日(金) 25日(金) 8月8日(金) 22日(金) プールあそびをします。水着を持ってきてください。9月12日(金) 26日(金) 園庭あそび, 【竹の台児童館】 7月15日(火) 23日(火) ちびっこ水あそび, 7月24日(木) 31日(木) 8月7日(木) 3回シリーズパソコンロボット、ブロックでロボットを作り、パソコンで動かそう、8月1日(金) キンボールであそぼう、8月23日(土) じどうかんまつり

会議・活動

- 8月27日(水) 「へっぴら」出張料理教室, 「クイックビザ」, くわしくは「じどうかんだよ」をご覧ください, 8月27日(水) 小学校施設開放(委) 8月23日(土) 利用調整会議 18時30分、小学校クラブハウスで 青少年育成協議会 20年度総会(新役員対象) 7月12日(土) 11時、小学校クラブハウスで 北公園管理会 7月7日(月) 7月24日(月) 8月4日(月) 8月18日(月) お問合せ 西田 TEL:991-0272

ごみはルールを守って出しましょう

最近、とり残しのごみが増えました。なぜ取り残したのか理由を書いた紙がはってあります。自分が出したごみを取り残されていると気づいた方は、持ち帰り、決められた日に再度出してください。放置したままだと、さらにごみが増える可能性があります。(1ページ参照) 多くの自治会・管理会・管理組合の役員さんが苦慮されています。《取り残し例》 剪定した植木の枝を袋に入れないでそのまま出している。45L程度の中身の見える透明またはブルー系のポリ袋に入れてください。 第3金曜日(粗大ごみ、金属系ごみ)に缶・びん・ペットボトルの入ったごみを出している。 缶・びん・ペットボトルは資源として再利用できます。第2・4水曜日に出しましょう。 第1金曜日(燃えないごみ・カセットボンベ・スプレー缶)に袋に入らない大型ごみを出している。 45Lの袋に入らないごみは大型ごみの日(第3金曜日)に出しましょう。 燃えるごみの日に新聞の束・ダンボールを出している。 新聞・雑誌・ダンボールは、資源として利用できます。各自自治会・管理会・管理組合で実施している資源回収に出しましょう。

読者の皆様へのごお願い

竹の台総合新聞製作委員会ではより一層紙面を充実するため読者の皆様と一緒に、紙面づくりを行います。色んな情報やアドバイスを寄せ下さい。是非、ご協力をお願いします。 5頁「インフォメーション」欄に掲載する各団体の今後のご予定をお知らせ下さい。次回は9月発行予定です。ご連絡は、10月分の予定です。ご連絡は、8月中旬頃までに。 地域のさまざまな出来事をお知らせ下さい。「地域の動き」に掲載します。これから始まる事、終わった事でも結構です。お気づきになったらその都度、ご連絡下さい。 「何でも相談コーナー」での相談内容、「特集記事」のテーマを募集します。難しい相談の場合は、関係機関に問い合わせの上回答します。特集記事ではテーマを深く掘り下げます。バックナンバーはインターネットから閲覧ができます。 (http://akenodai.furemachi.net/) インターネットで掲載して欲しい記事に「竹の台地域情報局準備会合」を開催し、全団体の同意を受けて、本誌と竹の台ホームページ「竹の台地域情報局」(http://akenodai.furemachi.net/)をスタートさせたものです。開始に至るまでの議事録は全て公開しています。お問い合わせは、編集責任者まで

11月より家庭ごみの出し方が変わります。指定袋制度になります。今回の制度は、市が袋の規格を定めるだけです。ごみ処理費用を袋の価格に上乗せしないので、ごみの有料化ではありません。また、指定袋の販売価格は、一般的なポリ袋と同程度の価格になる予定です。大型ごみは有料申告制になります。品目ごとの重量・大きさや処理のしにくさなどから、具体的な品目ごとに料金を設定します。

新聞ポスティング者募集。健康増進を兼ねて竹の台総合新聞のポスティングにご協力下さい。募集人員 約3名(高齢者歓迎) 謝礼 ポスティング1戸当たり5円(集合住宅4円) お問合せ 森川 TEL:992-4376



竹の台総合新聞は、平成17年12月18日(日)、地域福祉センターにおいて地域の自治会、管理組合、ふれあいのまちづくり協議会などの地域「ミニ」団体が集まり、「竹の台地域情報局準備会合」を開催し、全団体の同意を受けて、本誌と竹の台ホームページ「竹の台地域情報局」(http://akenodai.furemachi.net/)をスタートさせたものです。開始に至るまでの議事録は全て公開しています。お問い合わせは、編集責任者まで



読者のページ

このページは、読者の皆様の協力で作ります。投稿、お便り、質問、なんでも結構です。たくさんのお便りをお待ちしております。



この4コマ漫画は、竹の台の女子高生の作品です。次号もご期待ください。

ほのぼの投稿

子ども見守りグループの活動にたまに参加させていただいています。見守りのメンバーの皆さんが子ども達のことを考え、本当に一生懸命子ども達の安全を守っているなど、ひしひし感じます。他者のために努力する姿には感動すら覚えます。

しかし、よく考えてみると、子ども達の安全を守る直接の当事者は保護者です。たまに参加しないのですが、あまり偉そうなことは言えないのですが、たまに行った場合でも見守り活動への保護者の参加はゼロに近い状態です。もちろん我々年金生活者と違い忙しいことは分かります。しかし、それにかまけてわが子の安全を地域の人に丸投げするのはいかなるものでしょうか。見守りのメンバーに

保護者がしなくて誰がする

俳句

檜の香したり虫受くる手に
地芝居の化粧してをり蟻地獄
台本に付箋仰山ひるぬさめ
美代子

嘴の音こだまとなりし植田かな
赤き花鳩の浮巢へ流れけり
朱の橋に土甍をこぼす早苗籠
繁子

俳句、短歌、川柳、詩などの投稿をお待ちしています。

ニュータウンでは井戸端会議がないと嘆く年配の人が多く、こういったボランティア的な集まりが新しい形のコミュニケーションの場となりつつあることを実感した。

ニュータウンでは子ども頃からの付き合いがないため、何かテーマがあった方が集まりやすい。PTAや趣味の会、今回のボランティア的な集まりなどがそうだ。自然発生的な井戸端会議は期待薄でも、こうした集まりを仕掛けることで楽しい井戸端会議の復活は可能だと思つ。

(6丁目 団塊の世代1期生)

井戸端会議復活

6月29日(日)の朝市で浴用の「よもぎ袋」を販売するため、1週間前のクラブハウスはその準備のためテナンヤンヤ。ガーゼで袋を縫う人、袋によもぎを詰める人、できあがった袋を数える人。エコタウンクラブメンバーや家庭の主婦達8人が大忙しのところにたまたま顔を出したが、その光景は正に現代の井戸端会議そのもの。作業をしながら、子どものこと、旦那さんのこと、ペットのこと、食事のこと、まあ、次から次によくしゃべること。

保護者の方々にも日々の見守りメンバーの努力に少しでも行動で応えていただきたいものです。(すみません 何も知らない者が出しちゃって)

(1丁目 I.S)



竹の台総合新聞は掲載料を取るのですか?

竹の台総合新聞 楽しく拝見しています。

老夫婦二人なので、今まで地域の様子がよく分らなかつたのですが、新聞には地域のこと細かく書かれていて、私達の住む竹の台の事や地域のためにがんばっている方が紹介されていて本当にすばらしい町になったと喜んでます。

ところで、竹の台総合新聞は有料なのですか。また、新聞に載せてもらおうと思えばいくらのお金が必要と聞きました。が本当ですか。

(3丁目 F.M)

(ご本人の了解を得て、新聞制作委員会より回答します)

竹の台総合新聞は、平成17年12月に地域団体の皆様にお集まりいただき、地域全体のコミュニケーションペーパーを作ろうと了解をいただいたもので、今回号で12回目の発行となります。

印刷費(3,200世帯分)などで1回当たりの費用は10万円程度ですが、編集に携わる人間は全くのボランティアです、その費用は、自治会や管理組合、ふれあいのまちづくり協議会などから応分の拠出をいただき運営しています。

ですから、各家庭には無料でお届けしていますし、まして記事掲載料等をいただくことは一切ございません。どうかご安心下さい。これからも愛読のほどを。

誤診

ある春の日、我が家で飼っている石亀の「オカメ」が、庭で甲羅干しをしていたところ、カラスに襲われケガをしました。あわてて動物病院に連れて行き、先生「ケガはたいしたことないです。・・・ん？このおしりの部分のしこりは？ひよっとしたら悪性の腫瘍かもしれない。とりあえず、ケガの治療まで様子を見よう。」私「それはたいへん。ところで、先生、オカメの性別は？」先生「多分オスでしょう、それではお大事に。」その後、1ヶ月が過ぎ、キズも治り、元気になったオカメ。動物病院の先生に言われた腫瘍が気になっていたら、な、な、なんと卵を発見！オスだと思っていたのに卵とは。腫瘍じゃなかったの？・・・

(2丁目おはちゃん)

フリーマーケット

私は、大の買い物好き。フリーマーケットもよく利用し、安くて良い物を見つけ購入しています。

ある時、主人のために欲しいと思っていた、ちょうどよい大きさのおわんを見つけ、「今日もいい買い物できたわ。」と満足して帰りました。

ところが、その後、あるベトナムショップで、まったく同じおわんが売られているではないのを発見！

私を買ったのは、ペットの容器？

今も、主人は何も知らず、それで、晩御飯を食べています。

ゴメンネ・・・

(2丁目 Y.Y)



爆笑問題



青パト巡回員募集～地域の安全を守る

竹の台地域見守りグループと竹の台子ども安全基金は、青色回転灯による町内パトロールに協力していただく巡回員を募集します。青色回転灯は、警察車両の屋根についているような警告灯で、遠くからでも目視することができ、地域防犯に効果的と言われています。

募集する内容は次のとおりです。詳細については別途説明させていただきます。皆さまのご協力をお願いします。

募集人員	若干名
巡回内容	青色回転灯をつけた軽トラックによる町内パトロール 1回2時間程度、週2回程度巡回 緊急時の警察への通報等
謝金	500円程度/1時間
条件	地域防犯に意欲のある方 普通免許をお持ちの方で健康な方 警察の講習を受けていただきます
補償など	交通事故に備え任意保険に加入しています ボランティア保険を付保します。

問合せ：地域見守りグループ 絹川(携帯)090-6978-9159 寛(TEL991-6784)

手作りパン ボン・ドール

メロンパン、マロンパン、クロワッサン
サンドイッチ、焼き菓子、食パン等

全品2割引

この半券をご持参いただきますと、

隔週火曜日 トーホ-駐車場

竹の台総合新聞12号

レインボーショップ

竹の台のお隣、樋谷の農家で栽培された野菜を販売しています。
新鮮・安全・おいしい・安い
これからは、おいしい夏野菜ができる季節です。是非一度お越しください。

《営業日》
月・水・木・金・日
午前9:30~午後2:00
土
午前8:00~午後2:00

《住所》西区樋谷町長谷68-1
《電話》992-9285
《定休日》火曜日

切り取ってご持参ください
30円割引
(300円以上お買い上げの方)
次回割引30円券お渡しします

竹の台総合新聞12号